

入院診療計画書② 肺部分切除(気胸4日用)ひだり

患者ID：0

患者氏名：0

主治医氏名：0

担当看護師氏名：0

新規作成日：2019年5月23日

日付	#####			1/1	1/2	1/3	1/4
	1日前	基準日(手術当日)		1日後	2日後	3日後	4日後
		手術前	手術後				
目標	治療について理解できる	手術について理解できる	排液に問題が無い				
	入院生活について理解できる		疼痛のコントロールができている				
			呼吸状態が安定している				
			体位変換ができる	歩行ができる			
			循環動態が安定している			自己管理ができる	
			皮膚の状態に問題がない				
			創部に問題がない				
治療処置	身長・体重測定	体重測定 サインペンで手術部位の 左右を示す印をつけます。 2日以上排便が 無いときは浣腸をします。 入室30分前には弾性ストッキングを 着用し手術衣に着替えます。	 酸素療法   吸入療法(1日2回)  吸入療法(1日4回)   下肢に血栓予防の圧迫帯を巻きま  胸腔ドレーン留置(空気漏れがなく、排液が少なくなったらドレーンを抜きます)				
投薬	 薬剤師が持参のお薬、 お薬手帳を確認します。	必要な薬のみ服用します。	 痛みがある時は鎮痛剤を使います。 飲水可となったら 鎮痛剤・去痰剤を開始します。	 鎮痛剤・去痰剤の内服			
注射		手術室入室時刻が10時以降の場合、 点滴を行います。	 点滴を継続します。 抗生剤が投与されます。				
放射線	 X線撮影		 X線撮影	 X線撮影	 X線撮影		
検体検査	 採血・採尿 動脈からの採血		 採血	 採血			
食事	 特に制限はありません。 21時からは飲食出来ません。	 飲食できません		 昼から食事が再開となります。	 特に制限はありません。		
排泄	数日排便が無い場合には 緩下剤を服用します。		尿を排出するための管が 留置されることがあります。 尿量を計測します。	状態を見て尿の管を抜きます。歩行が可能となったら排泄はトイレとなります。			
清潔	 入浴方法の説明をします。 入浴ができます。			 温タオルでの清拭(体拭き) 出来ない部分を介助します。	 ドレーンが抜けた翌日からシャワー浴が許可となります。 シャワーの際は傷口を擦らないように注意してください。		
安静度	 制限はありません。		 医師の指示があるまで ベッド上安静です。 痰が一側に溜まらないように、 向きを換える介助を行います。	 起床後、歩行許可となります。 歩行が不安定な場合は看護師が 付きそい・介助します。	 歩行が安定していれば、独りでの歩行が許可されます。 呼吸機能の回復につながるため、積極的に動きましょう。 胸がどきどきしたり、息切れが起こったときは立ち止まって休憩し、 回復してから歩行を再開して下さい。		
観察	 入院時、午後、 就眠前に検温をします。	 朝、検温をします。	 1〜2時間おきに状態を観察します。	 起床後、午前、午後、就眠前に検温をします。			 起床後に検温をします。
指導教育 リハビリ	 看護師から入院生活と 手術についての説明があります。 主治医から手術に ついての説明があります。 麻酔科医師の説明があります。	 看護師から付き添いの方へ 待機中の説明があります。	医師から付き添いの方に 説明があります。  深呼吸、痰の喀出、 下肢の運動の指導をします。	合併症予防のために痰を出し深呼吸をしっかりと行いましょう。 寝た状態では肺が圧迫されるため、 なるべく座っている時間を長く取りましょう。 肺の拡張が充分に得られない場合、 筋力の低下が見られる場合 にリハビリテーションが開始される事があります。		 退院後の生活について パンフレットで説明します。	 午前中に請求書をお渡しします。 清算後、スケジュール票、 退院証明書、お薬をお渡します。 ネームバンドを外し退院となります